

【別紙】令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立 十二月田中学校)

(A 4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | |
|--------|---------------------------|
| 学校教育目標 | 心豊かにたくましく生きる生徒 ～輝く笑顔 光る汗～ |
| 目指す学校像 | 誰もがわかる授業・出来る授業の実践 |

| | | |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (8割以上) |
| | B | 概ね達成 (6割以上) |
| | C | 変化の兆し (4割以上) |
| | D | 不十分 (4割未満) |

| | |
|----------------|-----|
| 出席者 | |
| 学校関係者 (教職員を除く) | 5 名 |
| 事務局 (教職員) | 3 名 |

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | |
|-------------|---|--|--|--|---|
| 領 域 | 年 度 目 標 | | | 年 度 評 価 (令 和 3 年 2 月 1 5 日 現 在) | |
| | 現状と課題 | 重点目標 | 具体的方策 | 重点目標の達成状況 | 達成度 次年度への課題と改善策 |
| 組織運営 | 〔現状〕 職員の半数以上が変わった。共有しながら伝統を受け継ぎ新しい風を、組織で動く。 〔課題〕 本校の伝統が十分引き継がれていないことである。 | 1 伝統を受け継ぎつつ、よりよい組織を運営する。 2 学習指導、生徒指導等方針や指導方法の共有化をすることで同一歩調を進めていく。 | 1 校務分掌の適切化と組織の見直し。教職員の特性を生かし、適材適所配置。 2 本校の課題を全員が共有し、お互いが話し合える雰囲気を作り、学校全体の同一歩調の取組を推進させる。 | 1 伝統を受け継ぎつつ、本年度きた職員が新たな風を入れ、よりよい組織となった。 2 学習指導では、ユニバーサルデザインの視点に基づき少しずつ学校内での統一がはかれ始めた。 | B ○職員間の風通しが明らかによりくなり、組織が活用されるようになった。事故等を防ぐ意味でも更なる研修の充実に努めたい。 |
| 教育課程 | 〔現状〕 教育が始まって以来の最大の危機である現状をしっかりと受け止め、生徒の学力を保障する。 〔課題〕 生徒の現状をしっかりと把握できていないことである。 | 1 生徒の不安を取り除き確かな学力を身につけさせる。 2 学校としての基本方針を明確にしていく。誰もがわかる・出来る授業を学校として統一していく | 1 十二月田小朝日西・東小の連携を視野に入れた指導方法の工夫・改善を推進する。 2 ユニバーサルデザインの視点に立った教育を推進する。 | 1 6月からの授業で、教員側にも不安が大きかった。幸いにして年度内の遅れはない 2 誰もがわかる授業を目指し、ユニバーサルデザインの視点に基づき少しずつ学校内での統一がはかれ始めたのは大きな成果である。 | B ○今年度未履修の内容については、次年度に実施する。また、研修を通じて誰もがわかるユニバーサルデザインの視点に基づき、統一した授業を展開し生徒に寄り添った内容を実践していく。 |
| 開かれた学校づくり | 〔現状〕 学校間の連携はできているが、地域からの協力を甘んじている現状がある。 〔課題〕 教員と、民生委員・町会との連携強化及び関わり強化が課題である。 | 1 民生委員会議等を活用した学校と地域との情報、問題意識の共有化。 2 今まで以上にHPやメール等を活用した保護者、地域への積極的な情報発信。 | 1 民生委員会議の充実と町会等との関係強化を図る。 2 必要な情報をHPに掲げ、HPの定期的更新、毎月の学校だよりの発行 (町会へ回覧) を行う。 | 1 9月から会議を始めたが、貴重な意見を多く取り入れることが出来た。 2 HPについては、昨年までの遅れを取り戻し始めた程度であるが前進した。また有効な手段であることがわかった。 | A ○地域に支えられている学校であることを改めて実感した。HPを更に充実させ、学校からの情報発信が楽しみだと思わせることが、課題である。 |
| 教職員の資質向上 | 〔現状〕 校内研修は、計画的に行われているが実態に即していないものがある。 〔課題〕 生徒を主体とした指導方法の研修が課題である。 | 1 学年によって学力の差があるため、学年クラスの実態を正しく把握する。 2 生徒を主体とした「主体的・対話的で深い学び」を実践させるための指導方法の工夫改善。 | 1 県学調等の分析を全職員をあげて行い実態を把握する。 2 年度当初に策定した計画による研修を確実に実施する。 | 1 学力の分析はある程度できた。 2 生徒を主体とした学習を十分行うことより、換気やソーシャルディスタンスを優先に授業を行った。 | B ○学年によって生徒指導に温度差があるのが事実であり、統一できるものは統一したい。 |
| 施設・設備等の管理 | 〔現状〕 旧校舎で老朽化している部分が目立っている。 〔課題〕 旧校舎施設の計画的な整備、補修のために計画的に予算執行することが課題である。 | 1 安心・安全な学校作り。 2 美しい校内環境の整備。 | 1 毎月の安全点検を活用し、必要な補修等速やかな対応を行う。 1 補修等の計画的な予算執行を行う。 2 担任や美術担当等による学級掲示、校内掲示の充実を図る。 | 1 校舎内の巡回は、毎日行っている。安全な学校作りは着実に前進した。 2 校内環境の整備については学年の協力で掲示物が充実した。校長室前等にも掲示板を作ることが出来た。 | A ○生徒の安心安全の確保は、最優先課題である。次年度も継続して重点の一つとして捉えていきたい。 |

| 学 校 関 係 者 評 価 | |
|--|--|
| ※実施日 令和3年2月17日 | |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 | |
| 教職員が大きく入れ替わり、組織に新しい風が入り、さらに充実した学校運営が期待できる反面、学校の良さ伝統を伝えて推奨していくことが難しくなっている。しかし時代と共に伝統を正しく受け止め、引き継いでいくことが大切だと賛同した。 | |
| コロナ対応で特別な年であり、行事の縮小や中止で授業時数の確保はできたことを理解。しかし学校は授業と行事・部活動がうまく連携してこそ人としての成長が見られるので、残りの日数で楽しい行事を盛り込みながら教育活動を進めることに意見があった。 | |
| 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ホームページやメールを活用しての情報発信が多かった。今後多くの情報をわかりやすく、丁寧に発信してほしい。民生委員会議や学校評議員会さらにケース会議等を充実して開かれた学校づくりを今後も推進してほしい。また、民生委員が家庭との連携にどのように関わっているのかを、ホームページや学校だよりで公開することで、多くの賛同がえられるというご意見を頂戴した。 | |
| 校内研修をさらに充実させ、教職員の資質向上にむけて取り組んでほしい。さらに、ベテランから若手教員への的確な指導法や対処法について共有し、生徒が充実した学校生活が送れるように指導を行う。部活動では伝統を引き継ぎ、熱い思いを持って指導に当たるなどのご意見を頂戴した。 | |
| 体育館の老朽化に伴い立て替え等の要望があった。また、体育館は地域の活動の場でもあり、更に、災害時の避難場所としても使用され、とても重要な場所である。照明や空調設備の検討も視野に入れて検討してほしいというご意見を頂戴した。 | |